



用途④

木造住宅の耐震性向上 (基礎と土台の一体化補強)

Power Coatingによる補強の仕組み

1

コンクリート基礎の直上に水平に設置される土台と大引木にPower Coatingを塗布します。

2

塗布により、基礎、土台、大引が強固な膜で一体化されます。

3

従来のアンカーボルトによる点での締結に比べ、面での一体化が実現します。

4

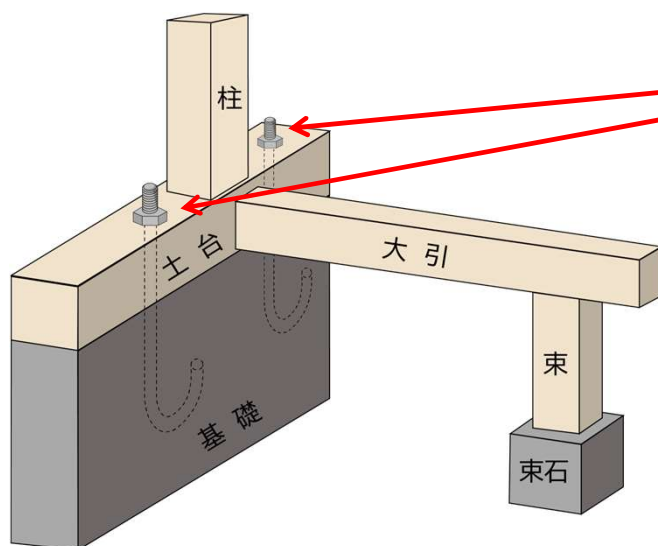
地震時の木造軸組の弱点である基礎部分からの柱の抜けを効果的に防ぎます。



用途④

木造住宅の耐震性向上 (基礎と土台の一体化補強)

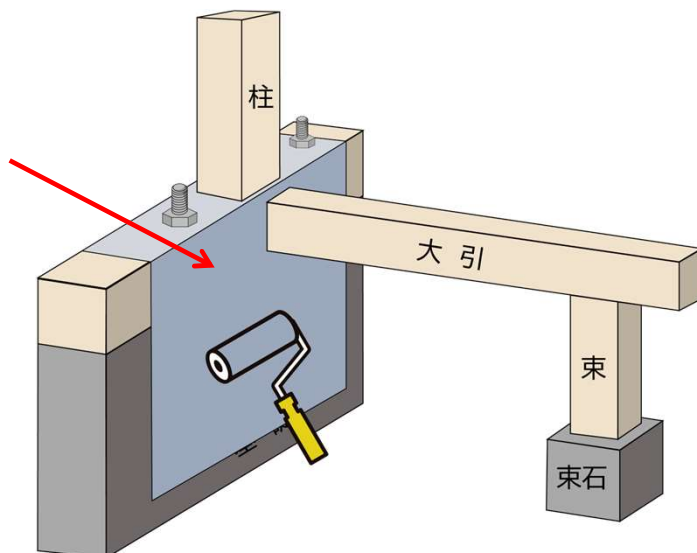
施工前



アンカーボルトの部分
だけで締結しているの
で応力が集中すれば土
台が割れる等の不具合
が発生しやすいです。実
際のボルト間隔はもっ
と広いです。
(ボルトが腐食していれ
ば特に脆弱)

施工後

基礎と土台を広い
面積で一体化する
ので補強効果が高
い。



Power Coatingを
塗布して一体化
(左記イラストは便宜
上、基礎と土台の一
部分のみPower
Coatingを塗布して
いますが実際には全
体を塗布します。)